

◎ボルタレンサポ [外]

【重要度】 【一般製剤名】ジクロフェナクナトリウム (U) diclofenac sodium 【分類】鎮痛・解熱・抗炎症剤

【単位】◎12.5mg・◎25mg・◎50mg/個

【常用量】1回25～50mg

【用法】1回25～50mgを1日1～2回直腸内に挿入

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (3)

【保存期 CKD 患者への投与方法】腎血流量低下作用があるため腎障害を悪化又は誘発することがあるため、腎障害患者には慎重投与 (1) 【その他の報告】腎障害悪化の恐れがあるためできるだけ投与しない (5) Ccr 10mL/min 以上：減量の必要なし、Ccr < 10mL/min：腎障害悪化の恐れがあるため禁忌となっているが減量の必要はない (5)

【特徴】インドメタシン、フルフェナム酸と同等あるいはそれ以上の抗炎症・鎮痛・解熱・プロスタグランジン合成阻害作用を示す。

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー、出血性ショック又は穿孔を伴う消化管穿孔、SJS・TEN、再生不良性貧血、溶血性貧血、無顆粒球症、血小板減少、紅皮症、急性腎不全、ネフローゼ症候群、重症喘息発作、間質性肺炎、うつ血性心不全、無菌性髄膜炎、重篤な肝障害、急性胸症、横紋筋融解症など

【安全性に関する情報】低体温によるショックを起こすことがあるので、高齢者に投与する場合には少量から投与を開始 (1)

【モニターすべき項目】CBC、貧血の進行、BUN、血清Cr、血清K、検尿、便潜血、肝機能、眼科検診、上部消化管診断

【吸収】ka=1.915/hr (1)

【F】74.2% (1)

【tmax】0.5～1hr (1) 錠剤より tmax は短く、Cmax は高い (1)

【代謝】肝で50%が初回通過効果で消失 (U) CYP2C9によって代謝 (4が水酸化) される (9)

【排泄】40～65%が腎排泄 (未変化体の尿中排泄はほとんどなし)、35%が胆汁排泄 (U) 【CL】全身 CL=0.337L/kg/hr、腎 CL=0.0011L/kg/hr (1)

【t1/2】1.2～2hr (U) 1.3hr (1)

【蛋白結合率】99.7% (1)

【Vd】0.17L/kg (1)

【MW】318.13

【透析性】透析で除去されるという報告 (U) もあるが、蛋白結合率が高いため、除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない 【O/W係数】13.4 (1) 【pKa】4.0 (1)

【相互作用】トリアムテレンと併用禁忌 【腎障害の増悪】 (1) CYP2C9 阻害剤との併用注意 (1) その他併用注意薬が多数あり (1)

【効果持続時間】胆石摘出術後疼痛：90分～18時間で平均5時間 (1) 解熱効果：投与後30分以内に現れ、効果は6～8時間持続 (1)

【更新日】20211113

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。